

第三種郵便物認可

A版

地域

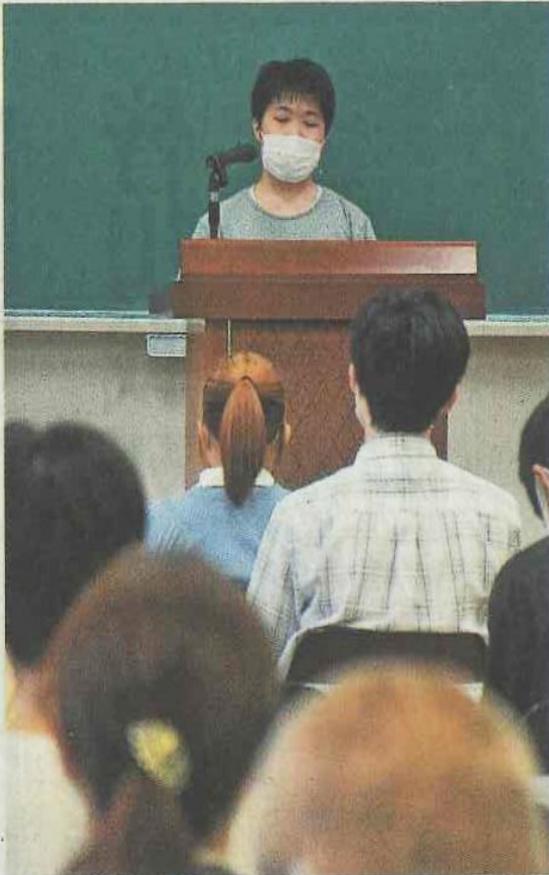
(16)

中学校教諭に体験語る

水戸南高 オープンスクール 定時・夜間制の生徒

県立水戸南高校（水戸市白梅、川内孝雄校長）の定時制の夜間制で14日夕、中学校教諭を対象としたオープンスクールが開かれた。生活体験発表会では生徒10人が、不登校など困難を乗り越えた自身の体験を語り、教諭らは生徒たちの発表に熱心に耳を傾けた。

同高の定時制の夜間制は34人が在籍する。オープンスクールは生徒の素顔に触れてもらおうと、初めて開



オープンスクールで、自身の体験談を発表する生徒。水戸市白梅の県立水戸南高校

催した。生活体験発表会は、県大会「県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」の選考も兼ねて行われた。

生徒たちは「過去と将来」「自分らしい自分」などをテーマに実体験に基づいて発表。時折、声を詰らせながらも心情を吐露した。2年の上遠野稜真さんは「邂逅」をテーマに、人間不信に陥ったものの、出会いがきっかけで前向きに生きることにできた経験を披露し、最優秀賞に選ばれた。

水戸市立笠原中学校の遠藤輔教諭(32)は「心の内面を表現するのは難しいが、(一人一人の発表は)素晴らしいと思った」と感想を述べた。また、茨城大人文学部3年の櫻井萌々花さん(20)は「経験の厚みがあり、自分より考えがしっかりしている」と経験を踏まえた言

葉の重みを感じていた。同高では、定時制の昼間制と夜間制、通信制で各1人が校内代表に選ばれ、今秋開催される県大会に出場する。

(鈴木聡美)

7月14日(水)に校内生活体験発表会を行いました。その時の様子が茨城新聞(7/19付)に掲載されました。